



友好の絆

国際友好都市 日照市を訪ねて



日照市の街並み

2002年に本市と友好都市協定を締結した中国・日照市。目覚ましい発展を遂げている日照市を、「日照市と友好の会」とともに青山市長を含めた親善訪問団が、約6年ぶりに訪問しました。

《詳細》総務課都市交流 ☎25-2215



◀日照港



▲多くの人でにぎわう海水浴場

日照市とは

中国山東省の東南に位置し、人口は約290万人、市制施行が1989年という都市で、市内に2つの大きな港を持つ港湾都市として発展してきました。電線の地中化や片側3車線の道路が整備されるなど、近代的な街並みが形成されています。昨年は国内線の空港も完成し、国際線の就航にも意欲的で、港湾、航空、そして2年後に開業する高速鉄道の整備と、まさに陸・海・空の交通インフラ整備が急速に進み、交通の利便性が高まっています。

日照港の2015年度の貨物取扱量は3億3千万トンです。中央アジアから鉄道で運搬されてきた石炭などが積み出されるなど、シルクロードの海の玄関口として、さらなる発展を続けています。また、100キロメートルに及ぶ海岸線があり、マリネリジャーやマリンスポーツが盛んです。柔らかなくま

友好の歩み

細かい良質な砂浜は、夏になると海水浴を楽しむ家族連れでにぎわいます。ほかに、大規模なマリナー施設を有しているため、世界大会規模のヨット大会が開催されるなど、水上スポーツのメッカでもあります。

日照市との交流は、1996年に日照市副市長一行6人が来蘭したことに始まり、翌年には室蘭市の経済視察団11人が日照市を訪問しました。その後両市の交流は続き、2002年に友好都市として提携しました。

2005年には、市内の中学生12人が日照市を訪問。翌年に日照市から15人の中学生が来蘭するなど、これまでに両市合わせて4度の交流がありました。

また、2013年に、室蘭工業大学と日照市にキャンパスを持つ曲阜師範大学が交流協定校になり、教育面での交流も行われています。

さらなる交流に向けて

今回の日照市訪問を契機として、今後、各分野での協力と交流をより一層促進するため、劉星泰日照市長と青山市長が、次の5項目について確認書を取り交わしました。

- ・相互訪問体制を強化するとともに相互理解を深める行政間の交流の推進
- ・港湾、鉄鋼製造、水産・食品加工などの分野で相互の企業のサポートを行う経済貿易分野での協力



▲確認覚書の調印式

- ・青少年の交流事業を定着させ、大学間交流活動を推進するなど、教育や文化における交流
- ・お互いの市の観光資源をPRし、市民観光を奨励する観光分野での交流と協力
- ・医療技術交流、看護師研修事業、高齢福祉分野での交流を促進する積極的な病院間の友好関係を築いていく医療・高齢福祉分野での協力

日照市は、温暖な気候、港湾を活かした産業振興、大学による人材育成など、中国の発展を象徴するような地方都市です。このような都市と友好都市を提携し交流できるのは、本市にとっても有意義なことです。

双方の優れているところをしっかりと認め合い、市民レベルでの友好を大切にしながら、実り豊かな交流を目指していきます。友好の絆が深まるよう、市民の皆さんのご協力を願います。